

ニホンカモシカの繁殖の取り組み（2023-2024）

菊池 博

金沢動物園では1982年4月にニホンカモシカの飼育を始めて以来、1984年から2013年までに13頭が繁殖している。ニホンカモシカは単独生活であるため、普段は雌雄共に個別に飼育管理を行い、秋から冬期の繁殖期にペアリングを実施しているが、2014年度以降は繁殖が止まっている。2023、24年度も例年通り繁殖を目的としたペアリングを行ったため、その概要について報告する。

ペアリングは雌が恋鳴きをする、雄を気にして落ち着きがなくなる等の発情兆候が見られた当日、もしくはその翌日等に行った。

2023年度は展示場にて、9月11日から2月3日まで52日間、日中9時10分から16時50分までの計215時間ペアリングを行った。同居中は雄による雌の追尾行動が多く見られたが、雌は雄を許容せず逃げ回り、2月3日に一日だけ交尾が確認された。

2024年度は寝室及びサブ展示場にて、10月6日から3月3日まで41日間、日中8時40分から16時50分までの計234時間ペアリングを行った。同居中は23年度とは異なり雌はほぼ毎回雄を許容し、少なくとも36日間で交尾が確認された。

ペアリングと並行して、両年度共に雌の妊娠判定を目的とした糞中プロゲステロン（以下 P4）濃度を測定したところ、P4の値と恋鳴き行動に相関が見られ、約18日周期でP4の上昇が確認された。しかし、両年度共に交尾後の排卵があったものと予想され、妊娠には至らなかった。